

平成23年度用新版日文『小学社会』 年間指導計画案の構成

- 年間指導計画案は、平成23年度用『小学社会』に基づき、1年間の年間指導計画を作成するための参考資料としてまとめたものです。各地域・学校の実態にあわせてご活用いただければ幸いです。
- 各学年ともに教科書の単元配列にしたがって、「大単元の目標・評価規準」「小(中)単元の目標・評価規準」を示した後、原則として小見出しの学習単位ごとに「二学期制・三学期制の区分」「月(=指導時期)」「小見出し」「配当時間」「学習のねらい」「子どもの追究活動を支える評価規準の具体例」を示しています。
- 評価の観点については、文部科学省「小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における児童生徒の学習評価及び指導要録の改善等について(通知)」に示された「社会的事象への関心・意欲・態度」、「社会的な思考・判断・表現」、「観察・資料活用の技能」、「社会的事象についての知識・理解」を設定しています。
- ここでの「評価規準」とは、原則として1単位時間ごとの「おおむね満足できる」学習状況を表しています。その評価規準を参考にし、子ども一人一人の学習の確実な定着が図られているかを評価し、「努力を要する」学習状況や「十分満足できる」学習状況かを判断していただくことになります。
- 学習指導要領の「内容の取り扱い」で示されている選択事例を取り上げた「せんたく」、いわゆる発展的な学習を取り上げた「大きくジャンプ」については、本教科書において配当時間を設定しておらず、そのため、本資料には目標・評価規準を掲載していません。(3・4年上P.96~111「工場ではたらく人びとの仕事」をのぞく)ご了承ください。